

これまでに大腸腫瘍の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院人体病理病態学講座では、東京山手メディカルセンターと「炎症性腸疾患関連腫瘍と散発性消化管腫瘍の組織形態・免疫組織化学的特徴の相違の研究」という研究を行っております。この研究では、炎症性腸疾患（Crohn病および潰瘍性大腸炎）を背景に出現した大腸腫瘍が、炎症性腸疾患の炎症による炎症性発癌なのか、通常の散発性大腸腫瘍なのかを鑑別するための方法を模索します。両者を病理学的により正確に鑑別することは、患者さんにより良い治療法を提案・提供するために有用です。そのため、過去に大腸腫瘍の治療を受けた患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、順天堂大学医学部附属順天堂医院・JCHO 東京山手メディカルセンター

において、2011年1月1日～2021年12月31日の間に外来・入院で大腸腫瘍の治療を受けた方です。

・利用させていただく検体は下記です。

上記期間で内視鏡的ないし外科的に提出された病理組織標本で病理診断目的を終えたホルマリン固定パラフィン包埋標本（既存試料）

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会および JCHO 東京山手メディカルセンター

の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 研究実施許可日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日まで

・研究代表者 八尾 隆史

過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、人体病理病態学講座の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、

本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。
上記の検体・診療情報等を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。
[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()
・東京山手メディカルセンター (研究責任者 深田 雅之)

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 人体病理病態学講座

電話：03-3813-3111

研究責任者：八尾 隆史

研究担当者：岡野 荘

JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター

電話：03-3364-0251

研究責任者：深田 雅之